（10・25日毎月２回発行　昭和53年６月25日　第三種郵便物認可）

自治体 あいちの仲間

2010.2.25
No.1001

発行責任者　伊藤　慎次　定価　10円
組合員の購読料は組合費のなかに含まれています

発行所　自治労連愛知県本部　名古屋市北区柳原三丁目7番8号
URL　http://www.jaichi.jp　TEL〈052〉916－2251
Eメール　info@jaichi.jp　FAX〈052〉916－2308

2010国際女性デー愛知県集会

講　演・貧困・失業、社会保障
講　師・都留　民子 さん
（広島県立大学教授）
と　き　3月6日(土) 13：30～
ばしょ　名古屋市女性会館

2010 県本部組織集会

変化を確実にすすめる組合の力を高めるため、職場から労働組合を強く大きくしようと、自治労連愛知組織集会が2月20日・21日、蒲郡で開かれました。同時に自治体に働く非正規労働者の全県組織として県本部関連協の再建総会がおこなわれました。

組織集会㊤名古屋交通指導員の仲間㊦

非正規労働者の〝とりで〟再建

関連協三役左から２人めが岡田さん

みんながひとつに底上げはかろう

組織集会にあわせて、県本部「関連労働者・労働組合協議会」（略称・県本部関連協）の再建総会が開かれました。いま、自治体にはたらく非正規労働者は３割を超え、仕事を進める上で、なくてはならない職員。その処遇の改善は、行政サービスの向上のためにも重要で、関連協を再建し改善をすすめようと呼びかけられました。特別報告に立った半田市職臨職・パート分会（パンダの会）から、「臨時保育士が、悩み・不安をグチるだけでは労働条件は変わらないと、組合に加入し、運動をすすめてきた。誇りを持って働くためにもがんばる」と報告。関連協の議長に選出された岡田美穂子さん（知立市職）は、「非正規職員も職場の一人としてがんばります。同時に処遇改善の運動をみんなでつくっていきましょう」と就任あいさつし、全体で決意を固めあいました。

関連協・三役　**議長**・岡田美穂子（知立市職）**副議長**・竹原千穂美（半田市職）**同**・柳進（県本部）**同**・名ブロから1名　**事務局長**・横江厚子（なごや介護）**事務局次長**・後藤総（県本部）

職場から組合を強く大きく

組織集会では、すべての単組の組織拡大で、１００名の増を勝ち取る。組合員が主人公の職場からの運動をすすめるなどの基調提起がされました。特別報告では、市民と職員を犠牲にした河村流構造改革の実態報告と、職員どうしのつながりを大切にした、本庁「ほっとステーション」のとりくみを名古屋市職労が紹介。また、パワーポイントを使った新採向け組合説明会の実践を豊橋市職労が報告しました。

その後、新採の１００％組織化や、組合運営の強化、臨職・非常勤の組織化と処遇改善などの分科会に分かれて話し合いが行われました。翌日、記念講演に立った京都大学教授の大西広さんから「組織拡大こそ要求実現の基礎であり、未組合員の組合加入は最高の支持表明である」と、記念講演がされました。その後、全体会と県本部関連協再建総会が開かれました。

私たち黙っちゃいません

（名古屋市職労交通指導員）

組織集会では、名古屋市職労に加入し、市当局から一方的な勤務時間の短縮とたたかっている交通指導員の仲間も発言しました。

昨年12月に市職労に加入しました。16区の小学校に1人ずつ指導員が配置されています。登校時の子どもの安全を見守り、地域の方々にも声をかけ、小学校・幼稚園・保育園での自転車教室・安全教室に参加しています。

市民経済局が労働時間を週30時間から25時間に減らすことに伴い、厚生年金・社会保険をはずし、時間給計算で給料を支払うと提案。何とかしなければいけないけれど、何をしていいのかわからない状況でした。

局が12月22日に、リーダーを集めて説明を行ったが納得いきませんでした。名古屋市はこの仕事をなくそうとしているのではないかと不安がよぎりました。組合に入って助けを請わなければと市職労に駆け込みました。1月半ばに2度の交渉をし、局は、「労働者として安心して働き続けることができる制度の維持・改善に努力を尽くし、あり方について検討する」「賃金・労働条件の変更には、議論できる時期に提案し、協議を重ねる中で解決をしていきたい」と回答。今回、組合に加入し、思いを当局に伝えられたことは私たちにとって大きな変化でした。

この仕事を大切にし、自信を持ちたい。同じ仕事をしているものとして、もっと情報交換をして、これからもがんばります。

（発言要旨）

普天間基地なくせ、基地建設ノー！

もうひとつの基地建設、そしてたたかい

東村・高江 ②

政府は、辺野古の新基地建設と一体になって、約３９８７ヘクタールの北部訓練場を返還するのと引きかえに、ヘリパッドを高江に移設することと、海からの進入路を建設することに合意した。最も近いヘリパッドは民家からわずか４００Mしか離れていないのだ。

沖縄防衛局が２００７年７月２日に工事を強行。その日から、住民たちはヘリパッド建設に反対し、米海兵隊北部訓練場の進入路前で座り込みをはじめた。

「ヘリパッドいらない住民の会」代表の安次嶺現達（あしみねげんたつ）さんは、「ここは本当に自然豊かなところ。でも、ヘリコプターがパイロットの顔が見えるくらい低空を飛行し、ものすごい爆音。ヘリコプターは一日中飛んでいる。夜の11時でも、戦争に時間はないからね。この実態を知ってもらいたいが、マスコミはなかなか報道しない。でも、私たちの活動を知って、全国から多くの人たちが座り込みに参加をしてくれている」と負けてはいない。

同じく代表の伊佐真次（いさまさつぐ）さんは「政府は仮想敵国をつくりだして、基地をつくろうとする。基地はいらないは当然の思い。基地撤去なら歓迎できるけど、日米両政府は移設ありきで話がすすんでいることに納得がいかない。戦争はしないほうがいい。米軍が守ってくれるからと日米同盟が必要といっているけど、米軍は自国の戦争のために沖縄を利用している。沖縄がどれだけ苦しめられているかみなさんに知ってもらいたい」と運動に力を入れる。

防衛省沖縄防衛局は2月19日、ヘリパッド建設予定地の進入口に仮設フェンスの設置作業を強行した。

（次号へ）

トヨタは内部留保を社会へ還元せよ!

第31回トヨタ総行動

２月11日、「トヨタは内部留保を還元せよ」「首切り・下請けいじめを許すな」と、トヨタ自動車の社会的責任を求めた、「第31回トヨタ総行動」が豊田市内で行われました。

午前中、中小企業へのアンケート配布や、刈谷駅・名古屋駅ミッドランドスクエア前での宣伝行動がとりくまれ、午後からは、豊田市・山の手公園での総決起集会が開催され、雨の中１０００人が参加しました。

榑松佐一・愛労連議長は「トヨタのリコールは、人員切り下げ、下請け単価の切り下げなど利益優先のコストカットにある。利益より安全を優先させ、13兆円の内部留保を労働者の賃上げと下請け単価の引き上げにまわさせよう」とあいさつしました。

トヨタの期間従業員を雇い止めにされた、三浦修さんは「正社員になるために２年間、無遅刻・無欠勤で改善提案も出してきた。しかし、トヨタは一方的な雇い止めをし、その理由すら説明しない。トヨタが引き金となった雇用破壊で、今でも多くの労働者が路頭に迷っている。一人ひとりが大切にされる社会をつくるためにがんばろう」と訴えました。

集会後、トヨタ本社へむけてデモ行進が行われました。

雨の中、本社前までデモ行進

ニュース笑アップ

芝岡☆友徳行

あなたも自治労連共済に加入しよう！

特区認定は二重三重の誤り

田原裁判

裁判後の報告集会

保育園給食の外部搬入は児童福祉施設最低基準違反であり、それを構造改革特別区域法で認定し、合法化させたのは、法治国家の根幹を揺るがすもの。田原市への特区認定はただちに取り消すべき、と争われている裁判が２月23日、名古屋高等裁判所で開かれ、住民側の控訴代理人・佐藤典子弁護士が意見陳述を行いました。

１審の名古屋地裁は、「入所時が保育園で自園調理を受ける権利があるとは解せない」として、特区認定取り消しの訴えを退けました。佐藤弁護士は「認定は違法状態を追認するもので、特区法の趣旨・目的を逸脱。特区申請にあたっても、住民や議会にも説明されていない」など、２重３重の誤りがあることを指摘。その上で、子どもたちの体と心を作るのは食べ物であり、生存権そのものと強調。訴訟で争われているものは、コスト重視で違法を追認するのか、それとも、未来を担う子どもたちを大切にし、安全で最良の食を確保するのかである」と訴えました。

その後、開かれた報告集会では、国の児童福祉法最低基準見直しの攻撃を跳ね返すためにも、裁判所へ慎重審議と、公正な裁判を求めて、運動を広げようと話しあわれました。

市長会・町村会へ春闘要請行動

県本部女性部

要請内容を届ける女性部

県本部女性部は２月16日、愛知県市長会と町村会に、春闘要請行動を行いました。

要請内容として、非正規労働者の均等待遇の実現や、産休、育児・介護休業に関する代替制度を保障すること、子どもの看護休暇を子一人につき５日とし、義務教育終了までとすることなど、家庭的責任を持つ労働者の要求実現、後期高齢者医療制度の早期廃止を国に要望することや、公的保育制度の堅持・拡充など、憲法を生かして住民のいのちと暮らしを守ることなど要請しました。

反貧困　3.14　春の大集会

要求でつながろう！

日時：3月14日(日)13時～　場所：久屋市民広場

おたのしみプレゼントつきクイズ

左のクロスワードパズルを解き、解答および名前・組合名・職場をハガキに書いて送ってください。抽選で10名に図書カード（1000円分）を贈呈します。

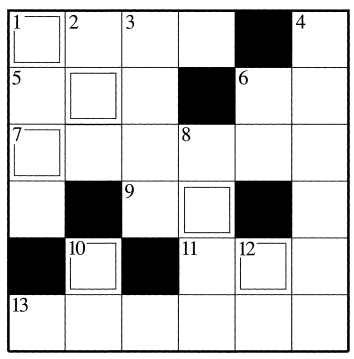
〒462－0845
名古屋市北区柳原３丁目７－８　自治労連愛知県本部教宣部　**締め切りは３月31日必着**。ハガキに必ず近況や職場での話題、「あいちの仲間」の感想や載せてほしい話など、書き添えてください。

クロスワードパズル◇◆◇

カギを解き、二重ワクに入る文字をうまく並べてできる言葉は何？

【タテのキー】①板で造った塀　②ゆるむこと。筋肉の――　③おかげさまで両親は――　④２月14日は――デー　⑥○○がはずれて落胆　⑧お近づきに――をと酒を勧める　⑩○○得勘定　⑫○○に鶯

【ヨコのキー】①石を蹴りながら片足で跳ぶ遊び　⑤感じやすい性質。――な少女時代　⑥肌○○に効くクリーム　⑦七福神で唯一の女神　⑨○○か来た道　⑪折角の――を無にする　⑬ワンタン入り中華そば



出題　Mr.BON

クイズの当選者

お年玉付プレゼント

９９８号のクイズの答えは「メイジンゲイ」でした。53通の応募があり51人の方が正解でした。次の方に図書カードを送ります。

鍵山洋一郎（名古屋市職労）
伊藤　秀高（名古屋市職労）
草間　聖（名古屋市職労）
浅野みよ子（名古屋市職労）
重藤　新子（学事労）
犬塚　隆三（豊橋市職労）
藤﨑　順子（豊橋市職労）
宮道　順子（豊橋市職労）
岡本　武久（豊橋市職労）
下條由香子（豊川市職労）
寺部　七重（豊川市病組）
杉浦　正子（西尾市職）
青山　佑太（西尾市職）
鈴木　弥生（西尾市職）
今村　知美（長久手町職労）
松田　直子（長久手町職労）
伊藤　哲司（春日井市職労）
堀場　朋子（春日井市職労）
山田　俊男（瀬戸市職労）
倉地　美月（犬山市職労）